

ART COFFEE



株式会社アートコーヒー
2024年度 サステナビリティレポート

2025年5月

ごあいさつ

アートコーヒーでは、企業理念である「**コーヒーを通じて、お客様や社会、そして地球との豊かな共生を実現します。**」のもと、SDG s への貢献を目指し、2022年度にサステナビリティ委員会を発足しました。

コーヒー業界を取り巻く状況は、温室効果ガスの排出による気候変動の影響、生産地におけるコーヒー栽培に関連した環境破壊や汚染、生産者の労働環境、人権など、様々な課題を内包しており、それぞれに対して積極的かつ具体的な対応が求められています。

アートコーヒーは、これら課題に対応するため、社内目標を設定し、全社一丸となって活動に取り組んでおります。

目次

○アートコーヒーが考えるサステナビリティ

- ・スローガン
- ・推進体制

○2024年度 of 取り組み

- ・マテリアリティマップ(重要度評価)
 - ・アートコーヒーのマテリアリティ
- 1.気候変動・自然環境改善への貢献
 - 2.持続的なサプライチェーンの維持
 - 3.高品質な製品・魅力的な価値提供
 - 4.多様な人材の活躍と連携
 - 5.コーポレート・ガバナンスの徹底

アートコーヒーが考えるサステナビリティ

スローガン

Your Coffee Partner

“Your”は、お客様・お取引先様、社会、そして地球といった、アートコーヒーをとりまく大切な全てを指しています。

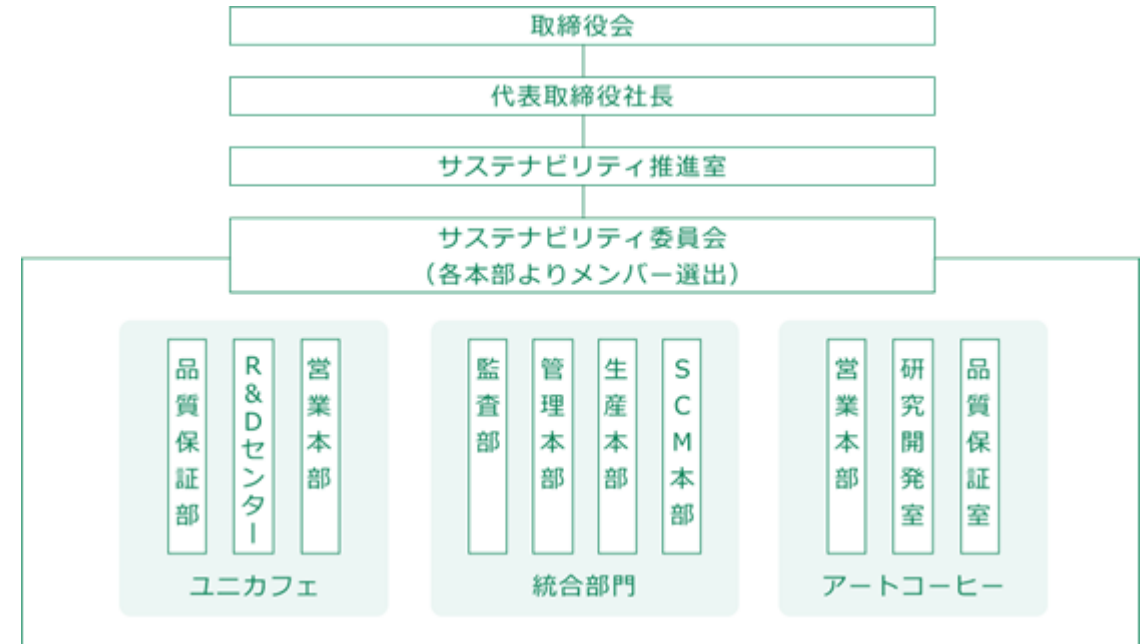
“Coffee”は、現地での生産から消費に至る全てのプロセスを結び付けるアートコーヒーのコーヒーです。

そして“Partner”は、ともに価値を育み、一緒に成長していく信頼関係を表現しています。

人々は長い歴史の中で、コーヒーから活力や安らぎを享受し、またコーヒーを囲んで大切な人との笑顔あふれる時間を過ごしてきました。

このコーヒーによって彩られた豊かな日々が未来に続くよう、このスローガンのもと、一人ひとりが「味の芸術(=コーヒー)」を追求し、寄り添い、向き合い続けながら、全てのステークホルダーと一丸となって行動を起こしていきます。

推進体制



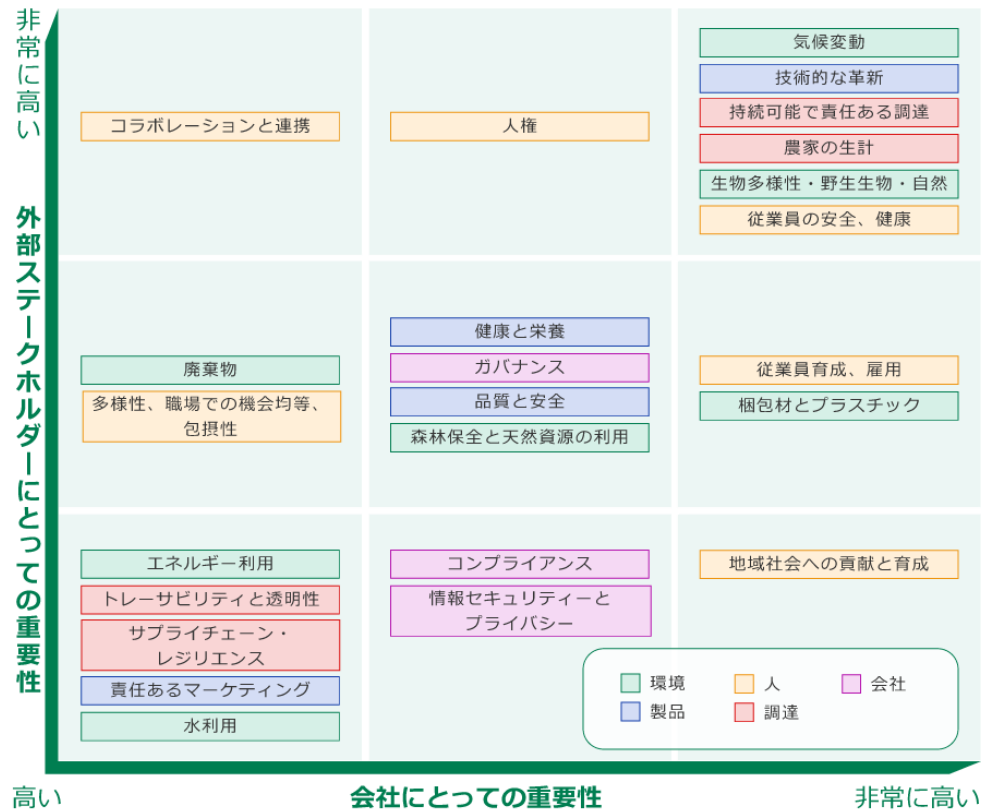
アートコーヒーでは、サステナビリティへの対応を全社的かつ組織横断的なものとし、円滑かつ効果的に推進することを目的として、親会社であるユニカフェと合同で、上図のようなサステナビリティ推進体制で活動を行っています。

活動の運用管理をサステナビリティ推進室が行い、具体的な取組みの遂行は各本部からメンバーを選出したサステナビリティ委員会が行います。推進室と委員会とで定期的に進捗報告会を行い、連携を図っています。

アートコーヒーのマテリアリティ

マテリアリティマップ

アートコーヒーでは社内・社外にとっての重要性を2軸として重要度を評価し、マテリアリティ・マップを作成しました。検討したどの課題も、社会的な重要度は高いため、評価軸の幅は最低でも“高い”となっています。そのため、対応する課題を絞るのではなく、優先度をつけてすべてに対応する姿勢をとっています。



マテリアリティ

様々なプロセスを経て、5つのマテリアリティを策定しました。

1. 気候変動・自然環境改善への貢献	気候変動を緩和し、自然環境を改善するためにできることを実施します。
2. 持続的なサプライチェーンの維持	コーヒー産業の維持・発展のため、サプライチェーンの現状を見つめ、未来に向けた再構築を行います。
3. 高品質な製品・魅力的な価値提供	お客様・消費者の方々に寄り添い、時代に合った価値を提供できるよう製品や新分野の開拓に努めます。
4. 多様な人材の活躍と連携	ここで働く誰もが心身ともに健康的に人生と仕事を両立し、地域やパートナー様により良い営業をもたらします。
5. コーポレート・ガバナンスの徹底	全てのステークホルダーのために、自律的に、かつ透明性を持って統制します。

2024年度の取組み：1.気候変動・自然環境改善への貢献

GHG排出量を削減する

アートコーヒーでは、2025年までにScope1・2での温室効果ガス(GHG)排出量を46%削減、2040年までにScope1・2・3を100%削減(2019年比)することを目標に掲げています。2019年からこれまでの間に、2021年に自社工場を閉鎖し、外注委託製造への切替え、再エネ電力を使用したオフィスへの移転により、Scope1・2でのGHG排出量は既に99%を削減しています。2024年は地方支店のオフィス移転により、更なるGHG排出量削減に向けた取組みを実施しています。

水性フレキシ印刷の導入

製品パッケージとなるフィルム印刷において、一部の製品に水性フレキシ印刷を導入しました。従来の印刷方式に比べ環境負荷が少ないことから、今後も導入商品の拡充を目指してまいります。

(参考)導入製品における環境効果

	油性グラビア凹版	水性フレキシ凸版
インキ成分	顔料など、VOC	顔料など、水
VOC発生量 (10万枚あたり)	61.13kg	1.43kg (削減率97.7%)
CO2排出量 (製品1袋あたりのCFP値)	51.77g	41.11g (削減率20.6%)

算出、出典元「水性フレキシ促進協議会(株式会社光邦)」

オーシャンバウンド・プラスチックを原料とする パレットへの切替え



2024年度より、工場での製品保管、輸送時に使用するパレットを、OBPパレットへ順次切り替えています。

OBPとは、オーシャンバウンド・プラスチックの略で、海洋ごみとなる手前の海岸から約50km以内の内陸部に廃棄されているプラスチックのことです。このOBPを回収し、一部原料として再利用した輸送用パレットを使用することにより、新たな石油由来のプラスチックを使用せずに済み、CO2排出量の削減につながるとともに、海洋汚染の改善にも貢献できる取り組みです。

ユニカフェグループでは、2030年までに工場で新たに購入するすべてのパレットをOBPパレットへ切り替える予定です。

現在工場で使用中的パレットを製造する際のCO2排出量を比較すると、OBPを一部使用した再生材料では、通常のバージンプラスチックを使用した場合と比べて約64%ものCO2排出量削減につながります。

包材の薄肉化



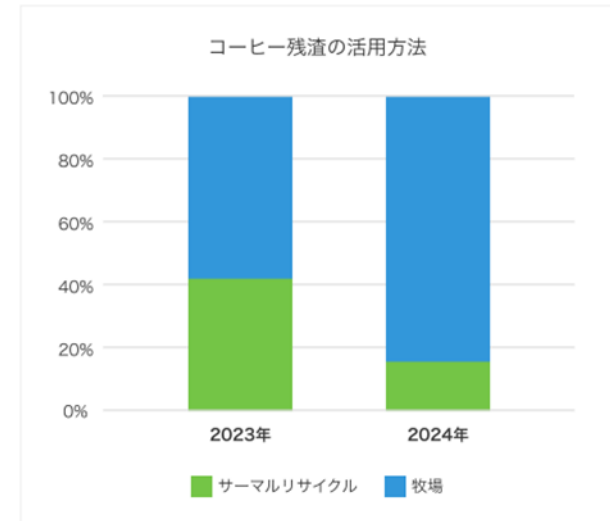
コーヒーの包材は、いくつかの層が重なって出来ています。

安全に製品をお届けするために不可欠の包材機能はそのままに、各層の接着剤として使用されていたPE(ポリエチレン)を、プラスチック由来でない接着剤へ切り替えることで、品質はそのままにプラスチック使用量を削減いたしました。

廃棄コーヒーの再利用



製造工程で生じるコーヒー残渣は、磯沼ミルクファーム様、服部牧場様が経営する牧場に提供して再利用しています。コーヒー残渣は牛舎の敷料にすることで牛たちの生活空間を快適にするとともに、牛舎内の臭いを和らげる効果があるため近隣地域の環境維持にも貢献しています。また、磯沼ミルクファーム様では敷料として使用済みのコーヒー残渣と牛糞を混ぜて堆肥を生産・販売しています。牧場で再利用していただくことで、コーヒー残渣は土に還り、他の農作物を育てる循環が作られています。



2024年度の取組み：2.持続的なサプライチェーンの維持

各種認証製品の取り扱い強化



アートコーヒーでは、有機JAS認証、レインフォレスト・アライアンス認証、国際フェアトレード認証、バードフрендリー認証を取得した原料を使用した製品の取り扱いをしており、年間製造数量の約半数が上記認証豆を使った製品となっております。

2022年には国際フェアトレード認証製品のリニューアルを行うなど、持続可能な社会の実現に向け、自然環境や生産者へのサポートなどに対するお客様の意識の高まりに合わせ、取り組みの強化を図っています。



お取引先様へのサステナビリティ・セルフアセスメントの実施



アートコーヒーでは、「アートコーヒーの責任ある調達原則」、「サプライヤー行動規範」に則った調達を実施し、健全なサプライチェーンの維持に努めています。2024年度より、一部主要なお取引先様にご協力いただき、サステナビリティ・セルフ・アセスメントを実施しております。アセスメントの実施により、主要お取引先さまのサステナビリティなどに関する取り組み状況の確認とリスク把握を行っています。

■実施結果の概要（ユニカフェグループとして）

回答企業様数： 96社

対象企業様数： 157社

平均得点率： 74%（満点を100%として）

- ご協力いただいたお取引先様：一定金額以上の取引があり、かつ複数年連続して取引しているお取引先様のうち、各業種カテゴリの上位70%を占めるお取引様
- カテゴリ：原料、商品、配送、製造、その他
- 設問項目：人権、労働、環境、公正な企業活動、品質・安全性、サプライチェーンなどに関する設問

アセスメントの結果は、お取引先様とともに成長していくべくフィードバックの上、状況の改善に向けた取り組み支援や、コミュニケーション強化などにつなげてまいります。

2024年度の取組み： 3.高品質な製品・ 魅力的な価値提供

2024年度の取組み： 4.多様な人材の活躍と連携

2024年度の取組み： 5.コーポレート・ガバナ ンスの徹底

機能性食品の研究開発



少子高齢化が進み、認知症、肥満、糖尿病、精神疾患などの増加が予測されています。

そんな中、出来るだけ長く健康的なシニア期を送ること、介護者・被介護者が出来るだけ快適に過ごすこと、それらに備え、若いうちからでも心身共に健康を保つためにできるセルフケア、といった側面にますます関心が寄せられています。

これら現代人の課題に対し、私たちにできることはないだろうか、と考え、持続可能な未来に向けて、健康配慮製品の提供を目標の一つとして掲げ、機能性表示食品を開発しました。

人権・ハラスメントに関する教育研修の実施



多様性を尊重し、受容し、一人ひとりに合った公正な環境を提供することで、全ての人が自分らしく自己実現できる世の中が求められています。

これまでの価値観や概念が大きく変わる側面もあり、新しい社会の考え方に柔軟に順応できるよう、従業員へ毎年1回、人権やハラスメントに関する教育研修を実施しています。

教育・研修制度の充実



「人材育成」は経営にとって最重要テーマの一つであり、従業員の活躍・成長を促す為、等級・職位別研修体系図を定めております。具体的には、次世代人材育成のために選抜型教育研修やe-learningを用いた学習、コーヒーのプロフェッショナルとしての知識向上ならびに資格取得支援を実施しています。また、各部署の業務内容に関する相互理解を深めることによる業務効率化とリレーションシップ強化を目指し、不定期でオンライン勉強会を開催しています。

WEBの便利機能(リアクションやアンケートなど)の積極的な活用でリテラシーを高めるとともに、アットホームな雰囲気を育むことで社内コミュニケーションの強化にも貢献しています。

リスクマネジメントに対する取組み



アートコーヒーでは、各種法令を遵守した企業活動を行うべく、年1回、全従業員を対象として、法令違反のケーススタディに則ったチームディスカッションと、オンラインによる研修を実施し、コンプライアンス遵守に対する意識を高めています。

また、年1回の情報セキュリティ研修の実施とともに、不定期でウィルスメールを模したメールを配信する等して、実践的な訓練を行っています。

ART COFFEE